

タマリハ言語聴覚学科外部講師 坂本圭先生に聞いてみよう!

タマリハ新聞

番外編
発行所
多摩リハビリ
テーション学院
専門学校

問題点に、どのように支援できるか

埼玉医大病院耳鼻咽喉科の言語聴覚士です!

埼玉医大病院では、聴覚障害の方に対して各種聴覚検査を実施したうえで、医師とともに個々に応じた補聴機器（補聴器や人工内耳等の人工聴覚機器）の選択し、補聴機器の調整を含めた聴覚リハビリテーションを行っています。対象は新生児から高齢者まで幅広い年齢の方に対応しています。タマリハでは、「聴覚障害学Ⅱ（成人聴覚障害）」という講義を担当しています。成人の聴覚障害を持った方が抱える困難や背景を理解したうえで、聴覚機能やコミュニケーション能力における問題点を適切に評価するために各種検査を知り、検査方法を学んでいきます。そして、問

題点に対してどのような方法で訓練（リハビリテーション）し、支援することができのかにについて講義しています。タマリハには言語聴覚士を共に目指す意欲の高い学生と親身になって学生を支えてくれる、専門性の高い先生方がいらっしゃると思います。言語聴覚士を目指す方々が、安心して学べる環境があります。一緒に目標に向かって頑張りましょう。言語聴覚士は、生活するうえでなくてはならない、コミュニケーションや食べることに困難のある方、一人一人に向き合い、専門性を活かして、その人らしい生活が送れるよう支援していく仕事です。共に学び・経験し、専門性の高いスペシャリストとして、一緒に仕事をしましょう。皆さんがこれまで経験してきた社会経験が、言語聴覚士として対象者を理解するうえで必ず活かされると思います。将来言語聴覚士となる姿を意識し、仲間とともに



高いモチベーションを持って頑張ってくださいね。共にSTの仲間として働ける日を楽しみにしています。



坂本先生の授業は?

「質問すると、どこで分からなくなっているかを丁寧に聞いてくださり、明確にこたえてくださる。」「難しいことを噛み砕いて教えてくれるので、理解しやすい。」「授業のスピード感がよく頭に入りやすい。」「気さくで質問しやすく、ハキハキと答えてくれる。」・etc・

正の雰囲気にならずと変える先生。日頃は、病院で働かれていて、学生の個性、質を瞬時に見極めて、自然と誘導ができる先生。実習生も対応していると思います。坂本先生の元につかれた学生さんは、とても有意義な実習が送れていると想像できる。そのことから、本科の学生も信頼を持って任せができる。入学前に言語聴覚士になりたい学生さんの希望する領域は、摂食嚥下障害領域が一番多いが、坂本先生を始めとする聴覚障害学領域の先生方の影響を受け、入学後は聴覚障害学領域の言語聴覚士になりたい!と希望を変え、学生も少なくない。坂本先生はトーク力、パフォーマンス力、相手をつかむ力と「人（学生）」に影響を与える方の特徴「を持ち合わせている先生です。是非、坂本先生の授業を受けてほしいと思います。



「えっ、学生さんじゃないの?」編集後記

事務の窓口に出席簿を届けに来てくださる時、物腰柔らかかにニコニコとされている坂本先生は、時折対応したスタッフから「今の学生さん?」なんて話が出るくらい爽やかな印象

多摩リハビリテーション学院専門学校

作業療法学科・理学療法学科（高卒3年課程）
言語聴覚学科（大卒2年課程）介護福祉学科（高卒2年課程）

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1 TEL. (0428)-21-2001 FAX. (0428)-21-2410

